

手芸倶楽部新聞

2015年
3月10日号
第24号

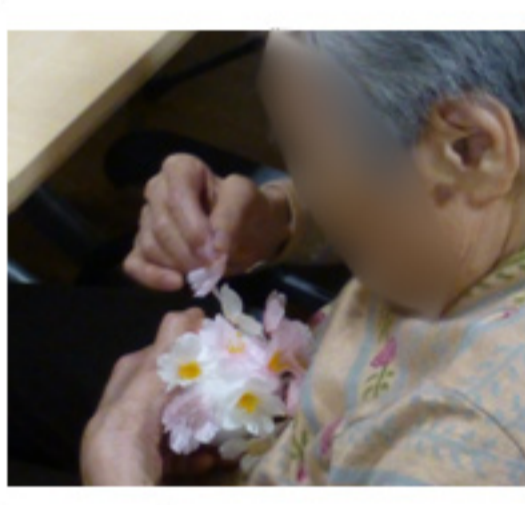
二月十八日と三月四日は、手芸倶楽部・裁縫の部が活動しました。二階青ユニットのフロアをお借りして、刺し子を仕上げたり、フラワーアレンジメントを作ったりしていただきました。貼り絵をされた方もいましたよ。家庭的な雰囲気の中、おしゃべりしながら裁縫するのは、炉端を囲んでいるかのような楽しさがあります。



編み物に熱中される方もいました。



三月十日の地域交流室でのフラワーアレンジメントは、少し趣向を変えて、トピアリー作りをしました。桜園オリジナルトピアリーは発砲スチロールの土台に、花のガク部分を差し込むという作業を経て作ります。ポンドをつけての作業ですし、力もいります。難易度も高いですが、職員の予想以上に、みなさん意欲的に取り組まれました。仕上がりもご覧のとおり、美しい桜のトピアリーが次々と誕生しました！



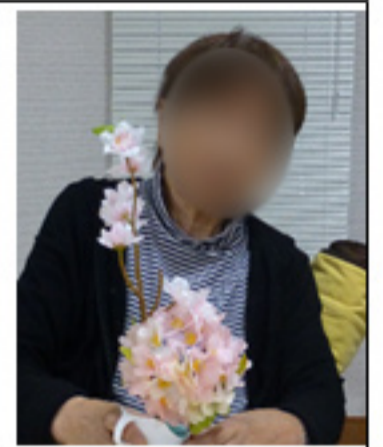
伊藤機能訓練指導員より

今年度のクラブ活動は、多くの職員、ご家族、ボランティアさんの協力で定期的に行うことができました。四月からも作る楽しみを感じられる時間にしたと思います。

次回の手芸倶楽部は四月二日(木) 十五時から二階青ユニットにて行います。また、一階地域交流室で行うフラワーアレンジメントは日取りが決まり次第掲示いたします。

手芸のツツ

今回は事前にユニットを周って「こんなの作ります」「素敵でしょ」と、宣伝を十分行ったらうえで実施しました。難しいアレンジだったのが簡単なプログラムも用意したので、参加者全員「桜の丸いの作りたい」とおっしゃってくださいました。予告し期待感を高めることは、意欲を引き出すのに有効だと、身をもって感じます。



編集後記：毎回、ご利用者様に喜んでいただくには、どんなプログラムがいいのかな？と、無い知恵を絞って考えております。一年以上続けて来て思うことは、初年度に比べ、どんどん自信をつけられて、楽しみにして、積極的により良いものを作りたいと望まれるということ。ご高齢になられても、可能性は無限大。少女の頃・主婦だった頃に戻って「出来る」と信じて取り組む姿は素晴らしいです。そして上手いかわなくても「えへへ歳だねえ」と笑って、職員に手伝わせてくださる柔軟さも素敵です。今回は難易度の高いフラワーアレンジに挑戦しましたが、全員その場で仕上げて帰られたことに、正直驚いています。来月はどんなアレンジにしようかな♪